

令和 2 年度第 1 回香川支部評議会 議事概要

開 催 日	令和 2 年 7 月 13 日（月）～16 日（木） 持ち回り審議により開催
評 議 員	小林評議員、坂本評議員、繁村評議員、白井評議員、長山評議員、西尾評議員、丹生評議員、野崎評議員、森永評議員（五十音順）
議 題	1. 令和元年度全国健康保険協会決算報告 2. 令和元年度支部事業報告について 3. 協会けんぽ香川支部における新型コロナウイルス感染症対策について

議 事 概 要	
<u>議題 1. 令和元年度全国健康保険協会決算報告</u> 【事務局より資料 1 に基づき説明】 ◆ 評議員からの質問・ご意見 【学識経験者】 コロナ関係の医療費の支出は増加するか。 【事務局】 今後増える可能性はあるが、現時点での見通しは立たない。しばらく様子を見ていく。 【被保険者代表】 日本年金機構の適用拡大による収支への影響はどうか。黒字が拡大するのか。 【事務局】 パート従業員等の比較的報酬の低い加入者が増加すると、保険料収入の増加以上に保険給付が増加する可能性もあり、必ずしもプラスに働くとは限らない。 【学識経験者】 保険料の納付猶予とは。 【事務局】 適用事業所に対して、最長 1 年間厚生年金保険料及び健康保険料の納付を猶予するもの。 【学識経験者】 支部別収支差の保険料率換算は 0.05%とのことだが、毎年度この程度か。 【事務局】 平成 30 年度決算では 0.01%であった。見通しと実績との差であり、0.05%は大きい方だ。	

【被保険者代表・被保険者代表】

令和元年４月に健保組合が解散した影響で加入者が増加しているが、香川支部に加入してきた人数はどの程度か。

【事務局】

香川は少ないほうだが、それでも加入者ベースで４千人程度いる。

【学識経験者】

決算の結果により加入者から保険料率を下げるよう要望はあるか。

【事務局】

現時点ではない。

【被保険者代表】

今の社会情勢からみても、今後保険料率は上がるのではと思っている。

【事務局】

現時点では黒字で準備金も積みあがっているが、今の社会情勢など様々な要因を中長期的に見通すと、簡単には下げられないと思われる。

【事業主代表】

今後、受診控えで医療費は下がると思われる。

【事務局】

下がる可能性も考えられる。

【被保険者代表】

医療機関等への受診控えが長引くことが予想され、今後医療機関等が減少していくのではないかと。医療崩壊を防ぐには国の補助が必要である。

【学識経験者】

新型コロナウイルスの患者を取り扱う医療機関に対して、感染症のリスクを考慮した危険手当等の保険点数が加算される予定はあるか。このままでは、受け入れる医療機関がなくなる。

【事務局】

医療従事者や職員に対して一時金としての手当は支給されるが、現時点で診療報酬への加算の予定は承知していない。

【学識経験者】

令和２年度決算は新型コロナウイルスの影響を相当程度受けるであろう。

議題 2. 令和元年度支部事業報告について

【事務局より資料 2 に基づき説明】

◆ 評議員からの質問・ご意見

【被保険者代表】

健診受診の促進は難しいと感じる。経済活動が戻り切っていないので、受診する時間的な余裕はある。私自身も受託先の企業に受診を勧めているが、受け皿はどうなのか。

【事務局】

受付を再開している機関もあるが、現時点での受診促進は難しい。

【事業主代表】

怖がって病院に行く人が減っているから、健診受診率が減少するのもやむを得ないのではないかと。

【事務局】

このままでは今年度の健診受診率は下がる可能性がある。

保健指導実施率は、健診受診者数が減少しているため、現時点では不明である。

【被保険者代表】

健診受診率が下がる可能性がある状況で、重症者への受診勧奨は難しいのではないかと。

【事務局】

受診控えがある中、難しいと思われる。

【被保険者代表】

3 月は新型コロナウイルスの影響で業績が切迫している事業所がほとんどである。本来は従業員の健康が大事だが、厳しい状況であると感じる。

【学識経験者】

事業者健診のデータ提供に同意することについて、事業主側のメリットは何か。

【事務局】

協会けんぽに結果データを提供してもらうことで、対象者への保健指導が可能となる。

【学識経験者】

事業主にとっての特筆すべきメリットが見当たらないため、データ提供の同意が進まないのだろう。事業主に福利厚生の一部という意識を持っていただく必要がある。

【事務局】

最近では、健康経営の視点で動いている事業所も多いと感じている。

【被保険者代表】

院内処方ジェネリック医薬品の使用が進まないと感じている。

【事務局】

個人経営の診療所等では難しい場合が多い。

【事業主代表】

ジェネリック医薬品に切り替えた時の効果は数量ベースではなく金額ベースで公表してはどうか。

【事務局】

金額ベースにすると、75.4%どころかかなり小さくなる。ジェネリックがない医薬品も多くそれらは金額が高いので。

【事務局】

多受診者に対しては、1 か月 20 件以上レセプトがある者を精査し、文書送付や電話で状況確認を実施している。

【学識経験者】

新型コロナウイルスの影響により、無駄な多剤投与が抑制されることが好ましい。お薬手帳の効果は限定的であり、地域のイントラネット（医療機関、薬局間の情報共有）の構築が必要である。日本は皆保険制度の下でアクセシビリティは良いが、それを利用する患者に賢くなってもらい必要がある。多受診者に対して、地域の保健師との連携はあるか。

【事務局】

個人情報の関係もあり、連携していない。

【学識経験者】

多受診者が生活保護に移行する前に適切なタイミングで介入することが望ましい。地域の保健師との連携も検討してはどうか。

議題 3. 協会けんぽ香川支部における新型コロナウイルス感染症対策について

【事務局より資料 3 に基づき説明】

【被保険者代表】

PCR 検査は保険適用となるか。

【事務局】

医師や保健師の指示により検査を受けた場合は保険適用となる。ただし、今後変更になる可能性は十分にある。

以上

特記事項